

定例観察会報告書

2023年 3月17日

3班 中山慎一

実施日：2023年 3月12日（日）

テーマ：春の花を求めて里山散歩

実施コース：神鉄藍那駅～藍那小学校前～藍那古道～丹生神社前バス停
(バス利用で神鉄箕谷駅前)

集合：神鉄藍那駅 9時30分

解散：丹生神社前バス停 15時頃

参加者：ビジター 53名 会員 16名 (スタッフ：3班班員 13名)

今回の観察会は好天に恵まれ春らしい気候での開催となりました。

ビジターを4班に分けて観察会を実施するように準備していましたが、まとまった人数で参加するグループがありビジター 53名を5班に分けて観察会をスタートしました。

今回は木造校舎が残る藍那小学校前を通り丹生山麓に至るコースで、源義経らが鶴越へ出るときに通ったと伝承される藍那古道を歩きます。急な上り下りのない穏やかなコースで、一部に道が荒れたところがありますがゆっくり観察が楽しめます。

観察会のテーマは「春の花を求めて・・・」で約100種類の植物が見られますが、暖かくなってまだ日が浅く開花したものが少なかったのが残念でした。

観察はシダレザクラ、ヤブコウジ、ウワミズザクラと進み、イワガネゼンマイ、クリハランなどのシダ植物を確認。ケケンボナシの果軸の味見(?)や里山にみられる竹林ではマダケとモウソウチクの識別などを解説しながら藍那古道を上ると、オオウラジロノキやウラジロノキが見られます。ここから開花が盛りのコショウノキが続き、ほのかな良い香りが漂います。ウグイスカグラやシュンランなどを見ながら藍那古道を進み、古道にゆかりのある鷺尾家の墓所を過ぎると丹生山系を見渡せる山田の里に出ます。前方の山並みを見ながら里山の道を歩いてゆくとゴールの丹生神社前バス停に無事到着し解散となりました。

